

# 2018年度 第3四半期決算概要

2019年2月7日  
デンカ株式会社

## 1.業績の概要

### 【総括(前年同期比)】

- ・当第3四半期連結累計期間は、原燃料価格の上昇に応じた販売価格改定や、電子・先端プロダクツ製品を中心に販売数量が増加したことなどにより、売上高は3,103億円と、前年同期に比べ172億円の増収(前年比5.9%)となり、第3四半期連結累計期間として過去最高となりました。利益面では、販売数量の増加や取引条件が改善しましたが、スチレンモノマーの定期修繕やヘルスケア分野などで将来に向けた先行投資による費用負担の増加などにより、営業利益は前年並みの248億円(前年比1.2%減益)となりました。そして、経常利益は243億円(前年比5.3%減益)、親会社株主に帰属する当期純利益は184億円(前年比2.8%減)となりました。
- ・先行きの不透明感は増しておりますが、当社は通期業績予想の営業利益360億円達成による2期連続の過去最高益更新を目指します。

### 【セグメント別状況(前年同期比)】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、デンカシンガポール社のポリスチレン樹脂、MS樹脂の販売は好調に推移したものの、スチレンモノマーの定修費用負担や、クロロプレングムが米国子会社の寒波の影響により販売数量が減少したことなどから、減益となりました。第4四半期も販売は堅調に推移しますが、通期予想営業利益は固定費等の負担増などにより前年比減益の見通しです。
- ・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、特殊混和材は原燃料コスト上昇の価格転嫁が進み、農業・土木用途向けのコルゲート管や耐火物・鉄鋼用材料の販売も堅調に推移したものの、セメントは販売価格是正が遅れ、肥料は出荷が低迷しました。また、一部製品では台風など自然災害の影響による出荷減もあり、減益となりました。第4四半期には、セメントや特殊混和材などの価格は是正が進むことなどにより、通期予想営業利益では増益を見込みます。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、電子部品・半導体搬送用部材の機能フィルムが前年並みとなり、LED用サイアロン蛍光体の販売が前年を下回ったものの、電子回路基板、高信頼性放熱プレート“アルシク”および高純度導電性カーボンブラックの販売数量が増加し、放熱材料向け球状アルミナの販売も好調に推移したことから、増益となりました。第4四半期においても車両電動化分野を中心に好調な出荷が続くことにより、通期予想営業利益は増益を見込みます。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、工業用テープの販売数量が増加し、食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品の販売も堅調に推移しました。また、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売も概ね前年同期並となりましたが、耐候性フッ素系アロイフィルム“DXフィルム”の出荷が前年を下回ったことに加え、原燃料価格の上昇などもあり、減益となりました。第4四半期以降も価格は是正を進めることなどから、通期予想営業利益では増益を見込みます。
- ・ライフイノベーション部門は、デンカ生研株式会社のインフルエンザワクチンや試薬の販売数量が増加し、研究費等の先行投資の負担増があったものの、増益となりました。通期予想営業利益では、期初予想の通り前年比増益を見込みます。

### 【業績】

(単位:億円)

	2018年度 第3四半期実績 (4-12月)	2017年度 第3四半期実績 (4-12月)	増 減
売上高	3,103	2,931	172
営業利益	248	251	△ 3
経常利益	243	256	△ 14
親会社株主に帰属する当期純利益	184	189	△ 5

	2018年度 通期予想 (4-3月)	2017年度 通期実績 (4-3月)
売上高	4,100	3,956
営業利益	360	337
経常利益	340	315
親会社株主に帰属する当期純利益	250	230

## 2.セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

		2018年度 第3四半期実績	2017年度 第3四半期実績	増 減
エラストマー・機能樹脂	売上高	1,340	1,249	90
	営業利益	102	108	△ 5
インフラ・ソーシャルソリューション	売上高	413	400	14
	営業利益	△ 0	7	△ 8
電子・先端プロダクツ	売上高	490	464	26
	営業利益	84	79	5
生活・環境プロダクツ	売上高	300	310	△ 10
	営業利益	8	10	△ 2
ライフイノベーション	売上高	268	249	20
	営業利益	44	43	2
その他	売上高	292	260	32
	営業利益	10	5	5
合計	売上高	3,103	2,931	172
	営業利益	248	251	△ 3

	2018年度 通期予想	2017年度 通期実績
売上高	1,800	1,701
営業利益	150	154
売上高	550	531
営業利益	5	2
売上高	685	626
営業利益	125	109
売上高	400	410
営業利益	10	8
売上高	345	323
営業利益	60	55
売上高	320	364
営業利益	10	8
売上高	4,100	3,956
営業利益	360	337

## 3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		2018年度 第3四半期実績	2017年度 第3四半期実績	増 減
投 資	設備投資	229	165	64
	M & A 他	1	42	△ 41
	計	230	207	23
減価償却費		172	186	△ 14
研究開発費		114	102	12
有利子負債残高		1,235	1,235	△ 0

2018年度 通期予想	2017年度 通期実績
310	227
未定	43
310	270
235	246
150	139
1,150	1,083

	2018年度 第3四半期実績	2017年度 第3四半期実績
為替レート [円/\$]	110.8	111.8
国産ナフサ [円/kl]	51,500	40,000

2018年度 通期予想	2017年度 通期実績
110.7	111.3
49,300	42,200

## 4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	2018年度 第3四半期実績	2017年度 第3四半期実績	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	1,340	1,249	90	116	△ 26
インフラ・ソーシャルソリューション	413	400	14	16	△ 2
電子・先端プロダクツ	490	464	26	0	25
生活・環境プロダクツ	300	310	△ 10	7	△ 17
ライフイノベーション	268	249	20	△ 3	23
そ の 他	292	260	32	-	32
合 計	3,103	2,931	172	136	35

## 5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	2018年度 第3四半期実績	2017年度 第3四半期実績	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	102	108	△ 5	116	△ 3	△ 118
インフラ・ソーシャルソリューション	△ 0	7	△ 8	16	△ 0	△ 23
電子・先端プロダクツ	84	79	5	0	17	△ 13
生活・環境プロダクツ	8	10	△ 2	7	△ 4	△ 5
ライフイノベーション	44	43	2	△ 3	14	△ 9
その他、消去差	10	5	5	-	3	2
合 計	248	251	△ 3	136	27	△ 166